

牛込一中だより

新宿区立牛込第一中学校
令和2年度第7号

学校教育目標

人間尊重の精神を基盤として、国際的視野に立ち、心豊かな国民を育成する。

- 一 自ら考え、進んで実行する人 (自立)
- 二 思いやりのある情操豊かな人 (共生)
- 三 心身ともに健康で、明朗な人 (健康)

自尊感情

校長 福田 忠春

時折、日本の子供たちの「自尊感情」が他国の子供たちと比較して低いという話を聞くことがあります。この自尊感情という言葉は、「自分を価値のある存在として尊重する感情」のことを言います。自尊感情の高い人は自分をより肯定的に捉え、低い人は自分を否定的に考えやすくなると言われていました。

この自尊感情に着目し、経年でその変化を追う研究に取り組んだ早稲田大学教授の小塩真司さんによると、1980年代から30年以上にわたり、日本人の自尊感情は下がり続けているとのことです。

自尊感情が高い人は、自分を大切にすることができるようになります。そして、自分を大切にできない人は、他人をも大切にすることはできません。

子は親の鏡

ドロシー・ロー・ノルト

けなされて育つと、子どもは人をけなすようになるとげとげした家庭で育つと、子どもは乱暴になる不安な気持ちで育つと、子どもは不安になる「かわいそうな子だ」と言って育つと、子どもは、みじめな気持ちになる子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる親が他人を羨（うらや）んでばかりいると、子どもも人を羨（うらや）むようになる叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう励ましてあげれば、子どもは自信を持つようになる広い心で接すれば、キレる子にはならない誉めてあげれば、子どもは明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは人を愛することを学ぶ認めてあげれば、子どもは自分が好きになる見つめてあげれば、子どもは頑張り屋になる分かち合う事を教えれば、子どもは思いやりを学ぶ親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る子どもに公平であれば、子どもは正義感のある子に育つやさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ守ってあげれば、子どもは強い子に育つ和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

学校においては、「わかった」、「できた」という達成感や成就感を感じる経験や、集団生活の中での役割を果たしていき、それが周囲に認められる経験などを通して、自尊感情を高める指導・支援を進めていきます。保護者や地域の皆様とともに、自分も他人も大切にでき、多様な価値観を認め合うことのできる子供たちを育てていきたいと思ひます。

10月の主な予定

- | | | | |
|-------|------------|--------|------------|
| 3日(土) | 落語鑑賞教室 | 12日(月) | 到達度テスト(3年) |
| 6日(火) | 出前授業(3年) | 17日(土) | 土曜授業・進路説明会 |
| 9日(金) | スケアードストレイト | 30日(金) | 国際理解(3年) |